夕刊 臺灣日日新報 臺灣新民 昭和十八年三月十二日（金曜日） 第一万五千四百五十三號 （一）

長江渡河一路南進
華容を完全占領
陸軍記念日の佳き日

【江南前線○○前線十一日發同盟】十日石首鵜池口兩據點攻略部隊に呼應し揚子江渡河後一路南下猛進中の我が精鋭部隊は陸軍記念日の佳き日十日午前八時三十分敵重要據點華容に突入殘敵掃蕩これを完全占領した

荒驚華容攻略に協力

【江南○○前線十一日發同盟】華容の敵主力軍は我が石首鵜池口兩據點攻略部隊に對し最後の反撃に出でたるも我が精鋭部隊の猛攻に遭ひ潰滅的打撃を蒙り遂に華容を我に奪はれた

要衝江波渡を占領

【江南○○前線十一日發同盟】十日早朝江南の要衝石首を占領した我が○○部隊の今次作戰に於ける敵との最初の戰鬪は實に午前六時、石首明方十五粁に突入十日午前八時四十分敵の後衛を擊滅した

敵の退路を完全遮斷

【江南○○前線十一日發同盟】わが攻撃部隊が十日午前八時四十分石首に入城した後逃げ遅れた敵は我が精鋭部隊の手により完全に遮斷され江南における敵の殘存兵力は今や袋の鼠であり我が攻撃部隊は殘敵の掃蕩に全力を擧げつつある

金屬回收本部設置勅令案

【東京發】政府は金屬回收令實施に伴ひ金屬回收本部を設置する勅令案を作成し樞府審査委員會に諮詢することゝなつた

十三萬餘噸を擊沈

獨潛水艦隊五日間の戰果

【ベルリン十日發同盟】獨逸司令部の發表に依れば九日獨英兩艦隊間に於ける大海戰の後獨潛水艦隊は五日間に亙り大西洋北部に於ける英國の大船團に對し攻撃を加へた

英快速艇を擊滅

【ベルリン十日發同盟】獨逸司令部の發表に依れば九日獨英兩艦隊間に於ける大海戰の後獨潛水艦隊は五日間に亙り大西洋北部に於ける英國の大船團に對し攻撃を加へた

陸軍異動發令

木村中將、軍事參議官に

【東京發】陸軍省發表（三月十二日）

▲任陸軍大將、陸軍省人事局長須磨彌吉郎

▲任陸軍中將 櫻井省三 陸軍中將 木村兵太郎

▲任陸軍中將 富永恭次 陸軍中將 富永恭次

▲補陸軍中將 土肥原賢二 陸軍中將 土肥原賢二

▲補陸軍少將 岡部平太郎 陸軍少將 岡部平太郎

▲補陸軍少將 岡崎清三郎 陸軍少將 岡崎清三郎

▲補陸軍大佐 佐藤裕雄 陸軍大佐 佐藤裕雄

陸軍異動略歷

【東京發】

木村兵太郎中將 埼玉縣出身、大正五年十一月陸大卒、同七年七月參謀本部員、同十一年七月歐國へ出張、國聯陸軍、同十四年五月參謀本部員、同年十月歐洲大戰參考館補、昭和二年七月歐洲大戰參考館勤務員、同四年六月參謀本部員、同五年八月參謀本部兼陸軍省員、同六年八月兵務局兵務課長、同八年八月參謀本部第一部長、同十年八月軍務局軍事課長、同十二年八月參謀次長、同十四年三月第十一軍司令官、同十五年十一月陸軍次官、同十七年八月軍事參議官、同十八年三月現職

土肥原賢二中將 岡山縣出身、大正八年十一月陸大卒、同十年四月參謀本部員、同十二年九月歐洲出張、同十三年八月獨逸駐在、昭和二年三月參謀本部員、同年八月歐洲出張、同三年八月參謀本部員、同五年八月奉天特務機關長、同七年三月關東軍參謀、同年八月奉天市長、同年十月關東軍特務部長、同八年三月同部附、同年八月參謀本部附、同年十二月支那駐屯軍參謀副長、同十一年八月第二師團長、同十二年十二月第一師團長、同十三年八月軍事參議官、同十四年九月參謀本部附、同十五年十月支那派遣軍總參謀副長、同十六年四月第七方面軍司令官、同十七年八月軍事參議官、同十八年三月現職

佐藤裕雄中將 佐賀縣出身、陸士、陸大卒、昭和八年陸軍省軍務局軍務課長、十年參謀本部第一部長、十二年ポーランド駐在、十三年米國駐在、十五年參謀本部第一部長、十六年十月第十師團長、十七年十月第四師團長、十八年三月現職

六法律公布

【東京發】今般樺太の施政確立を見るに至つたので、樺太施行に關する法律の公布式が十二日朝を以て左の如く行はれた

一、樺太の現狀の體制化に關する法律

一、樺太施行令の制定に關する法律

一、日本國籍法の樺太施行に關する法律

一、南洋廳關係法令の樺太施行に關する法律

一、水產業組合法

親補式

【東京發】

天皇陛下には十一日木戸幸一文部大臣中將の親補式を宮中に於て行ひ給ひ、引續き午後一時より木戸中將に左の如く親補の勅語を賜はつた

朕茲ニ親補ノ式ヲ行ヒ汝ヲ文部大臣ニ任ス

決戰下總力を結集

第八十一議會と今後（上）

木村中將、軍事參議官に

【東京發】大東亞戰下二度目の通常議會たる第八十一國會は來る二月二十一日を以て召集されたり

今次の召集は陸軍省軍務局長佐藤裕雄少將、陸軍省人事局長須磨彌吉郎中將、陸軍省軍事課長岡崎清三郎大佐、陸軍省軍務局軍務課長岡部平太郎少將の四名が新たに帝國議會の說明員に加はつたことである

陸軍省軍務局長佐藤裕雄少將は陸軍士官學校第二十五期、陸軍大學校第三十六期卒業、昭和十年十二月參謀本部員、同十二年八月支那駐屯軍參謀、同十三年八月參謀本部員、同十四年十二月ポーランド駐在、同十五年十一月參謀本部員、同十六年八月軍務局軍事課長、同十七年十月第十師團長、同十八年三月現職

陸軍省人事局長須磨彌吉郎中將は陸軍士官學校第二十二期、陸軍大學校第三十二期卒業、昭和八年八月參謀本部員、同十年八月軍務局軍事課長、同十二年八月參謀本部員、同十三年八月軍務局軍事課長、同十四年十二月參謀本部員、同十五年八月軍務局軍事課長、同十六年四月人事局長、同十七年八月軍事參議官、同十八年三月現職

陸軍省軍務局軍務課長岡部平太郎大佐は陸軍士官學校第二十六期、陸軍大學校第三十六期卒業、昭和十年十二月參謀本部員、同十二年八月支那駐屯軍參謀、同十三年八月參謀本部員、同十四年十二月ポーランド駐在、同十五年十一月參謀本部員、同十六年八月軍務局軍事課長、同十七年十月第十師團參謀長、同十八年三月現職

陸軍省軍務局軍事課長岡崎清三郎大佐は陸軍士官學校第二十七期、陸軍大學校第三十七期卒業、昭和十一年十二月參謀本部員、同十三年八月支那駐屯軍參謀、同十四年十二月參謀本部員、同十五年八月軍務局軍事課長、同十六年四月人事局長、同十七年八月軍事參議官、同十八年三月現職

雷撃に向ふ海鷲を見送る陸鷲勇士（陸軍省許可濟）（○○發）

議會運營方針の刷新

翼政會今後の動向注目

【東京發】第八十一回帝國議會は十日貴族院に於ける本會議開會を以て正式に開會されたが、衆議院に於ける本會議開會は十一日午後一時より開かれ、政府は大東亞戰爭下二度目の通常議會たる第八十一回帝國議會の召集を終へ、直ちに貴族院、衆議院の兩本會議に於て施政方針演說を行ふ筈であるが、今次議會は大東亞戰爭の第二年目に於ける國家總力戰體制の强化、飛躍的發展の重大なる段階に於て開かれるものであるだけに、政府の施政方針演說に對する兩院の質疑應答は、從來の議會に於けるそれとは全く異つた重大なる意義を有するものと見られ、殊に衆議院に於ては翼賛政治會の動向が注目されてゐる

翼賛政治會は發會以來既に滿一年を經過したが、この間翼賛會の强化擴充、翼賛會と翼壯との關係、翼賛會と翼政會との關係、翼賛會と官僚との關係等に關し、種々の問題が生じ、これが解決に關し翼賛會當局は屢々苦慮を重ねてゐたが、今次議會を機會に翼賛會當局は翼賛會の强化擴充に關する具體的方策を樹立し

國防、恤兵獻金總額 十一萬九千餘圓

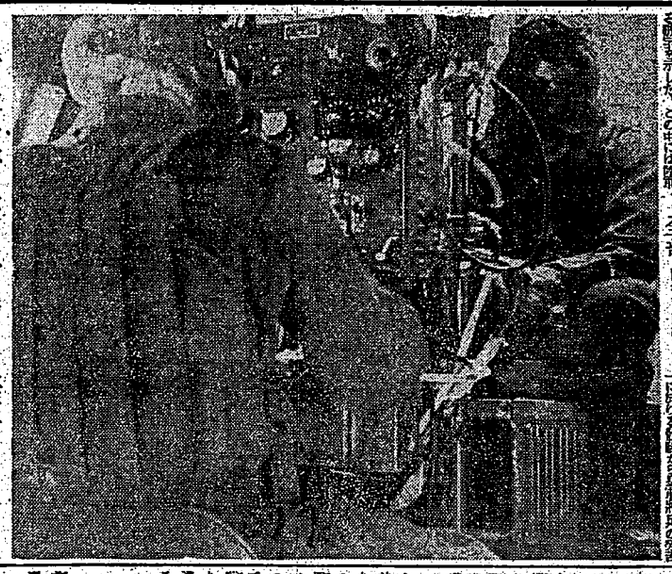
軍司令部 佳き日に島民の赤誠

蒲鉾に託す眞心

奇特な本島人歸還勇士

深山の增産戰士激勵

長谷川總督 タロコ産業道路から入山



南太平洋上空を哨戒する海軍○○機内の海の勇士【寫眞ニ依リ】

英國軍にない白兵戰

兵の小出しが大敗の因

偉勳共榮に輝やく

大東亞各地の慶祝行事

日華軍初の合同演習

至妙な近代立體戰展開

完全に洋鬼精神離脫

比島事情 加藤南方協會理事談

海外鄉軍の意氣衝天

皇軍の威容に度肝中國人驚嘆

北支派遣軍祝賀式

恩賜の義手傳達

野川軍醫 厚き御仁慈に感泣

賞賜品傳達式

映畫興行界も新體制

結核患者に快報！

努力三十年・遂に完成す

結核專門藥 星製藥株式會社

後二國志

（44）

吉川英治作 矢野橘村畫

痔と化膿症に

スクッミ力

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁
（第二版）（朝合刊一部五月九日第三種郵便物認可）昭和十八年三月十二日（金曜日）

墨山鋪、松木橋を占領
更に○○方面に突進中

【上陸○○前線十二日發同盟】我が○○部隊は○○○○方より敵○○○○○○に突出中である
▲墨山鋪、松木橋は運輸交通上の要衝
【上陸○○前線十二日發同盟】十日○○○○○○を占領した○○部隊の○○○○は更に○○○○○○を突破し十一日○○○○○○

社說

國土防衛と防空精神昂揚
訓練も戰場精神に徹せよ

一

さきに政府から發表されたところによると、國家民族の存亡を賭した大東亞戰爭は、すでに二年三ケ月を經過するが、「聖戰貫徹」の決意の下に、戰鬪により、つぎつぎと發揮される戰果は、まさに皇軍の赫々たる武勳であり、また、これを支援する銃後國民の總力戰態勢の整備強化の實績も、まことに刮目すべきものがあるのである。

二

然しながら、この間、國民ことに銃後の國家の一環に連なれば、國家にたゞ感謝を捧ぐるにしかずとするが如き、由由しきことで、寒心措かざるものがある。吾等が常に、心を痛める點である。吾等が常に、心を痛める點はないが油斷による禍根は絶對に除去しなければならない。

(1)アメリカに於ては英國に對する借款を基礎とする國家的利害と、しかも戰爭遂行に關する國民の一致協力の實績が利害となり、戰爭による民族の犧牲を極力避けるべく國民總動員の實施を强化せるべく國民總動員の實施を强化せるべく國民總動員の實施を强化せ

基地的性格に鑑み
航空試驗所設置
空の安全性確保さる

航空試驗所の設置は航空生産力擴充の基礎的施設として、また航空戰の進展に即應して、航空技術の研究、試驗、檢査、訓練等を一元的に統合運營し、その性格に鑑み、

御母さまの歩み

愛兒八名抱へ苦闘十六年
強き『日本の母』の姿

新竹州 臨屋敷センさんの敢闘譜

ひとし最近と現在と過去の苦闘の刀痕をまみえたこれを考へ語る時、語られたその年の春が巡ろうとする頃であった。日本の母の姿が巡ろうとする頃であった。日本の母の姿が巡ろうとする頃であった。日本の母の姿が巡ろうとする頃であった。

【新竹特電】新竹市西金町在住大東亞戰爭陸軍省發表の戰死者陸軍上等兵西金伍長（當時二十四歳）の母親ヒロさんは、十日午前十時三〇分ごろ、市役所から知らせを受けるや、取るものも取りあへず、自轉車を飛ばして自宅へ駆けつけた。

ヒロさんは、伍長の戰死の報を聞くや、「ああ、とうとう……」と叫び床に倒れ伏したといへども、直ちに起き直り、「天皇陛下萬歳」を三唱して、新聞社の取材に應じ、「伍長の戰死は、母として最も名譽とするところであります。伍長は、幼少の頃から、非常に強い子供でありました。學校でも、體操の時間には、いつも先頭に立つて、號令をかけてゐました。伍長は、私の生んだ子供の中で、一番可愛がつてゐた子供であり